

『最新の肝がん治療法 その2』

肝臓川柳

『ミリプラチン 混ざりやすさが 即戦力』



(塞栓術の即戦力という事ですね)

今回の肝トピは前回に引き続いて肝がん治療法

―>>肝動脈化学塞栓術(TACE)の最新の話をご紹介いたします。

★肝動脈化学塞栓術(TACE)★

《脂溶性造影剤》と《抗がん剤》を混合したものをカテーテルを通して動脈から腫瘍に注入し、その後ゼラチンで動脈を塞栓(フタをする)する方法。大型肝癌、多発性肝癌など幅広く用いられている治療法です。当院では年間300件ほど実施されています。従来使用されていた抗癌剤は水溶性であり、脂溶性の造影剤とは混ざり難いという欠点がありました。 ※※水と油は混ざり難いですよね

▼ ここからが新しい

2010年より脂溶性造影剤と混ざりやすい抗癌剤『ミリプラチン』が認可されました

▼▼ ここが特徴

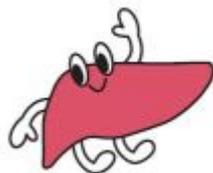
【親油性の抗がん剤】と【脂溶性の造影剤】が自然と混和される事によりミリプラチンが肝癌組織に選択的かつ長期滞在することが期待できるようになったわけです

▼▼▼ …ということは

それにより従来より強い抗がん剤効果が期待できるようになりました！！

▼▼▼▼ さらに…

ミリプラチンは副作用が少ないため繰り返して肝がんの治療を行う上でも効果的で安全な薬剤なのです



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

2010年に親油性のミリプラチンが認可されました。

ミリプラチンは脂溶性造影剤と混ざりやすくそれにより強い抗がん作用が期待できるようになりました。新しい薬剤使用でTACE治療の効果、安全性も向上しています。

(文 : 福井県肝疾患診療連携拠点病院協議会 野ッ俣 和夫)